

大町市議会議員定数等検討委員会（第9回）会議概要

1 開催日時 平成25年2月19日（火）午後2時30分から午後3時35分

2 開催場所 市議会第3委員会室

3 出席委員 八木 聡（委員長） 眞嶋 強志（副委員長）
松島 吉子 太田 昭司
高橋 正 荒澤 靖
中牧 盛登 一本木基善（公募委員）
大日方三郎（公募委員）

4 会議事項

- (1) 前回の会議概要確認
- (2) 望ましい常任委員会のあり方について
- (3) 議員活動実態調査実施上の課題等について

5 会議内容（決定事項等）

(1) 前回の会議概要の確認

- ・前回の会議概要について確認した。

(2) 望ましい常任委員会のあり方について

- ・委員長より資料に沿って説明する。
- ・これまでの委員会での調査研究及び議論を通じて、委員の中ではある程度の共通認識を得ることができたと考える。今後、議員定数や委員会の数を検討するにあたり、このまま委員会で検討を進めるか、会派に意見を聞くか確認した。

(会派からの主な意見)

- ・会派に持ち帰って検討してもまとまらないので、委員会の決定に従う。（政友クラブ）
- ・議員定数等について、まだじっくりと議論をしていないので、会派としての考え方を出す時間が欲しい。（市民クラブ）
- ・市民クラブと同じ。（民声クラブ）
- ・会派としては、積極的に減らす方向ではないことで一致している。（日本共産党）
- ・話題にはなるが、きちんと検討していない。（虹と緑の会）

(委員からの主な意見)

- ・回答は複数でもよいのか。→まとまらなければ、複数回答でもよい。
- ・委員会に出席しているが、議員活動の何がどう大変なのか感覚的に理解できない部分があり、現時点で意見を求められても、中途半端な回答となっ

てしまう。

- ・委員会としては、理由を明確にすることが重要であるが、現時点では、理由を明確に回答できない。
- ・議員は経験から実感があるが、現時点で、公募委員に意見を求めるのは時期が早いのではないか。
→今回は公募委員からの提出は求めないこととする。
- ・今回は、中間調査という位置づけと理解してよいか。今後、各会派の検討によって考え方が変わる場合もある。
- ・大町市議会における望ましい「議員定数」と「常任委員会の数」及び「その理由」について、各会派内で検討していただき、4月15日までに文書で回答を求めることとした。

(3) 議員活動実態調査実施上の課題等について

- ・12月分の調査集計結果を配布した。
(委員からの意見)
 - ・月ごとに同じ議員に振られている番号は統一した方が良いと思う。
 - ・議員が特定されることにより活動時間の長短のみが話題とされる。正確な活動時間の把握を行うことにより、今後の判断が適正に行われる。
→実態調査の目的は、市議会議員の平均的な活動の把握と報酬との比較である。個々の議員の活動時間の長短は、重要視していない。市民からの「議員は働いていない」という声に、実態はどうかを調査するものである。調査結果のまとめ方については、今後さらに検討することとする。
 - ・病欠している議員に対する議員報酬はどうなっているのか。
→議員報酬は、条例に基づき支出している。現時点では、病欠等により減額する規定は設けられていない。

(4) その他

- ・5月臨時会以降の委員会構成について、委員から正副議長が選出された場合には、会派から補充委員を選出していただくこととする。
- ・委員会の先進地視察について、当市議会に参考となる地を希望するとの意見があった。
→次回委員会までに具体的な視察先の希望を出してもらうこととする。
- ・次回の委員会については、4月23日(火)午前10時00分から開催予定とする。